山形市立本沢小学校　学校だより　　「思いやり　まねしてかしこく　力をあわせて」

しろやま

令和６年 10 月 11 日
第８号
校長　黒原　裕一

「ぶどうに込めた思い」安芸クイーンの広報（まねしてかしこく）

秋を感じるこの季節、ぶどう農家の今野さん、千葉さんのご指導のもと、伝統のぶどう栽培に挑戦した６年生が「安芸クイーン」の収穫と広報に挑戦しました。甘みも粒の大きさもすばらしいぶどうで、全校生、教職員もおいしくいただきました。また、ぐっと山形において、本沢のぶどうを試食、お土産として立ち寄られる方々に配付し、広報活動にも挑戦しました。

ぶどうの先生方に教えてもらうことをまねして作業を続ける中で、本沢地区に対する愛着が増し、どのような言葉で広報するか、考えながら活動していました。来年度、挑戦する５年生も「次は、わたしたちが。」と伝統を引き継ぐ思いが高まったようです。

「一人一人が輝いた運動会」（力をあわせて）

１０月５日、秋晴れの下、運動会を開催しました。９月中旬までは、まだまだ暑さもあり、熱中症指数を確認しながらの準備、練習でしたが、運動会本番に向けては、そのような心配も少なくなり、全力を出して体を動かすことができる環境となりました。

今年の運動会のスローガンは、全校生が投票で選んだ「協力　一人一人が輝く運動会」でした。輝くために二つのことを指導してまいりました。一つは「全力を出すこと」、自分の力を競技で発揮できるように、心と体の準備をすること。もう一つは「他の人が全力を出せるように努めること」です。応援や運動会の運営に関わる仕事をがんばることで、全力を出せる環境を整えることです。

当日は、最後まで全力で走り抜く姿、まりを高く投げたり、綱を力強く引いたり、騎馬をしっかり支えたりする姿、自軍を進んで応援する姿、運動会を自ら運営する姿があり、スローガンに十分迫ることができたと感じました。

子供たちのがんばりを温かく見守り、大きなご声援を頂戴しました、学校運営協議会の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

学校行事は、日常生活に彩りをあたえてくれるもので、全校生が取り組む「運動会」は格別です。華やかであり、子供たちが様々な力を発揮することができる成長の場です。行事を成し遂げた子供たちが、そこで培った力を日常の自身の目標達成に向けて活かすことができるようにしていきたいものです。「友達の考えを聞いてみるぞ。」「問題を最後まであきらめずに解いてみるよ。」「２学期の目標は、漢字をていねいに書くだったな。よし、がんばるぞ。」という姿を期待し、声をかけてまいります。

「できたこと、できることが分かる」ということ

～全国学力・学習状況調査より～

既に報道等でご覧いただいたご家庭もあるかと思いますが、令和６年度の全国学力・学習状況調査については、山形県及び山形市の平均正答率は、全国平均を下回る結果となりました。本校においても同様の傾向がありました。全国学力・学習状況調査に出される問題は、基礎基本を踏まえつつ、数種類の情報から取捨選択し、解答を導き出したり、自らの考え方を説明したりするなど、社会が求めている力を問うものとなっています。実際、日常の学習においても、様々な資料を読んだり、情報を得たりして、そのことをもとに自らの考えを更新しており、実態に即した問題となっていると感じました。

結果には様々な要因があると考えられますが、教職員で実際に問題を解き、子供たちの様子を基に分析しました。今後、以下の点について改善に努めて参ります。

① 評価の重要性

じっくり考えたことがどの程度妥当かどうか、自己評価をしたり、教員を含む他者から評価を得たりすることで、自分の考えを新たにしたり、確立したりすること

② 情報の活用

引き続き基礎基本を踏まえつつ、様々な情報を取捨選択するような学習を経験すること

③ 考えを明らかにする経験

学習して更新した自分の考えを「書き記す」ことでより確かなものにすること

※ご家庭でできること　例えば

・自ら調べる経験を後押しする
・自己評価を問うたり、次につながる評価を家族が言葉で伝えたりする
・文章を綴る機会を設ける（お手紙・日記など）

10 月・11 月の主な行事

10 月 17 日（木）総合防災訓練
　　引き渡し訓練
10 月 18 日（金）山寺への旅（2 年生活科）
10 月 21 日（月）～1 日（金）マラソン週間
11 月 1 日（金）マラソン記録会
11 月 8 日（金）第 124 回創立記念式・賀寿表彰
11 月 15 日（金）学習発表会
※ 地域の方も参観可能となっています。子供たちの学習の成果をご覧ください。